

平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

元気 6：地産地消定着による地域産業活性化プログラム

(主担当部局：農水商工部)

- (1) 6次産業化・アグリビジネス支援事業
- (2) 地域が支持する農林水産経営育成事業
- (3) 心豊かな里づくり支援事業
- (4) 地産地消情報基盤整備事業
- (5) 地産地消暮らしの魅力発見事業
- (6) 地産地消子どもの元気づくり事業

<プログラムの事業費>

(単位：千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	131,974	108,000	101,000	341,000 程度
見直し後	126,541	101,087	98,000	325,628

注：見直し後の 16 年度は 12 月補正後予算額、17 年度は当初予算額、18 年度は同見込額

<事業目標の見込み> 1 月末時点で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) ワークショップから生まれる、農林水産業を起点とした新たな物・サービスの提供(件数)	目標値	10 件	20 件	30 件
	実績値	10 件	-	-
(2) 新たな産消連携実践育成組織数(累計)	目標値	-	13 組織	25 組織
	実績値	-	-	-
(3) 県民と地域が協働した交流活動の取組地区数(累計)	目標値	3 地区	11(+3) 地区	21(+6) 地区
	実績値	3 地区	-	-
(4) データベースシステムへの年間アクセス数(件数)	目標値	-	5 万件	10 万件
	実績値	-	-	-
(5) 地産地消ネットワークみえ会員数(累計)	目標値	12,000 人	15,000 人	20,000 人
	実績値	12,000 人	-	-
(6) 地域食材を積極的に学習や体験に活用している小学校・保育園等の数(累計)	目標値	165 か所	230 か所	300 か所
	実績値	165 か所	-	-

注：(3) 県民と地域が協働した交流活動の取組地区数：これまでの取組から、新たな交流活動の活発化を見込み、目標値を上方修正。

<進捗状況(現状と課題)>

- ・意欲ある農林水産業者・食品関連事業者等に対する新商品等創出支援のための、マッチングコーディネーターやアドバイザー派遣を行っているところです。今後はマッチングやアドバイス結果を、効果的に新商品等の創出に生かしていく必要があります。
- ・農業が発揮する多面的機能の価値に関する調査や、県民ニーズに応じた農林漁業体験等を提供していくモデル的な地域(里)づくりを進めており、今後はこれらの成果を活用した連携の仕組みを構築していくことが課題です。

- ・県と協働して地産地消運動を進める「地産地消ネットワークみえ」の活動活性化について、連携して取り組んでいます。地産地消に関する情報発信機能の強化、県民・ネットワークみえ会員の主体的な運動参画等が課題です。
- ・子ども達に対する食育や食農教育に対するモデル的な取組を支援しています。今後は、地域食材を安定的に学校給食に利用できる仕組みの確立、モデル地域での成果を広く普及していくことが必要です。

<平成 17 年度の取組方向>

- ・県内農林水産業のもつ魅力を十分生かした農林水産物などを県民の皆さんに届けるための供給側の取組が活性化されるとともに、県民の皆さんの地産地消に対する理解が深まるようにするため、「みえ地物一番の日」キャンペーンなどを実施していることから、こうした取組を一層強化し、地産地消の考えをふまえた物・サービスが提供される機会の拡大や地産地消ネットワークみえへの活動支援などに取り組みます。
県が共通のマークやキャッチフレーズ、期日（毎月第3日曜日とその前日の土曜日）を設定し、協賛事業者が創意工夫して県産食材をクローズアップするキャンペーン。

<主な事業>

6次産業化・アグリビジネス支援事業 【17年度当初予算額 10,253千円】
(事業(1)の一部)

意欲的な農林水産事業者、食品関連事業者等を対象に、新商品創出に向けた異業種交流やマッチング等を行い、地産地消の考えをふまえた物・サービスが提供される機会を拡大します。

心豊かな里づくり支援事業【17年度当初予算額 5,700千円】

交流の「里づくり」を推進するため、地域住民・市町村・県などの協働による研究会を開催するとともに、モデル的な里づくりを行う地域に支援し、県民に農山漁村地域の多面的機能を活かしたサービスを提供できるシステムを確立します。

地産地消暮らしの魅力発見事業【17年度当初予算額 34,453千円】
(事業(5)の一部)

「地産地消運動」を生活者の視点に立って進めるため、県民が広く参加する推進母体「地産地消ネットワークみえ」と県・市町村が協働を図りつつ、フォーラムの開催や情報発信を行うとともに「みえ地物一番の日」を設定することで、三重県産の食材を消費する多様な仕組みや機会をつくるよう支援します。

地産地消子どもの元気づくり事業【17年度当初予算額 5,996千円】
(事業(6)の一部)

子ども達の地域への関心や、望ましい食生活への理解を深めるため、市町村段階等における学校給食等への地域食材の導入や体験学習等の食農教育を推進します。

みえの食育推進事業【17年度当初予算額 4,908千円】(事業(6)の一部)

子ども達の地域への関心や、望ましい食生活への理解を深めるためのモデルとなる幼稚園・保育園を設置し、子ども達への食育を推進します。

食生活いきいきネットワーク事業【17年度当初予算額 5,400千円】
(事業(6)の一部)

子ども達の地域への関心や、望ましい食生活への理解を深めるための重点地域を設置し、小中学校における子ども達への食育を推進します。